

## 寅さん歩 その20

### 官公庁の食堂めぐり-27 葛飾区役所



平野 武宏

昨年は東京の大学の学食を食べ歩きました。「寅さん歩」の愛読者から「次はお役所や企業の食堂をお願いします」との声がありました。日本の中枢、中央合同庁舎のある霞が関・大手町や東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催で盛り上がっている東京都庁の食堂を訪問しました。これからは東京 23 区の区役所の食堂を訪問します。

東京 23 区に番号が付いているのを初めて知りました。そのもとは旧自治省（現総務省）がつくったコード番号表です。旧江戸城＝皇居や霞が関官庁街のある千代田区が 1 番です。千代田区を中心に、ここから「の」字にぐるぐる回る順番のようです。

今回は 22 番の葛飾区です。このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないように配慮します。メニューの選択やコメントはあくまでも「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。室内の写真撮影は人物の顔が写り込まないことが原則です。メニューや値段は訪問時のもので、最寄り駅は代表例です。

〔葛飾区役所〕 葛飾区立石 5-13-1

最寄駅 京成押上線 立石駅

葛飾区は 1932 年（昭和 7 年）東京府南葛飾郡の金町、新宿町、南綾瀬町、本田町、奥戸町、水元村、亀有村の五町二村で誕生しました。

古代では全域が下総国に属していましたが中世に江戸川を境とし葛西郡、葛東郡となり、江戸時代には葛西郡が武蔵国に入るといった歴史があります。葛飾の語源はアイヌ語、南洋民族の漂流による外来語説、葛が繁茂していた地域とする説などありはっきりしないとのこと。東西を千葉、埼玉両県に接するこの地は急激な都市化の中でもまだわずかながら地方色と自然を残す地域で、柴又は映画の寅さんの生まれ故郷です。

駅北 1 出口から案内表示に沿い、桜並木を進むと葛飾区役所（写真右）新館 7 階、本館 4 階に到着します。



## [葛飾区役所 食堂]

新館 1F にあります。ランチの営業時間は 11 時～17 時です。  
写真下左は豚汁とアジフライの野菜たっぷりメニュー 500 円、  
写真下右は日替わり弁当 600 円です。



その他のメニューは A 定食 600 円、B 定食 540 円、カツ重 530 円、  
そば・うどん 360 円～460 円、そば定食・うどん定食各 550 円、  
ラーメン 380 円～530 円です。

区役所観光課発行の「葛飾観光ガイドマップ」では小菅、堀切、金町・新宿・亀有、  
お花茶屋・青戸、立石・四つ木、新小岩、水元、東金町、柴又・鎌倉、高砂・奥戸  
の 10 のエリアに分けて紹介しています。

「寅さん歩」の葛飾区紹介は次の通りです。番号は「寅さん歩」の目次番号です。

東京十社：4、東京の富士塚めぐり：29、健康ご利益めぐり：53、花の祭り：96  
江戸・東京の祭り：97、100、東京にこんなところ：130、160、170  
江戸・東京（23 区）の百名山：146、お江戸の閻魔大王：169

葛飾区の木は「シダレヤナギ」、花は「ハナショウブ」です。



### [バーチャルウォーク 途中経過]

2018 年（平成 30 年）10 月 1 日沖縄県辺戸岬をスタートした聖火  
は沖縄県那覇市から鹿児島県、宮崎県、大分県、福岡県、山口県、  
岡山県、兵庫県、大阪府、京都府、滋賀県、三重県、愛知県を経て  
静岡県に入っています。2019 年（令和元年）10 月 29 日現在、  
スタートから 1370 K m 地点を通過しました。

ウォーキングでは人や自然との多くの「出会い・ふれあい」があります。  
寅次郎も「映画の寅さん」に負けないくらいの人との出会いがあります。  
ご迷惑をかけない範囲でご紹介します。

## [寅次郎がウォーキングで出会った人—25]

～ 「8020」のお手本のような元気印の女性 ～

「8020」とは歯科医師会の「80歳で自分の歯は20本以上残す」ことですが、寅次郎は「80歳で20kmは歩ける脚力を持つ」と読み替えています。

**既に傘寿を過ぎているFWAスタッフの倉林久枝さんがその人です。**

FWAの前身のウォーキング愛好者グループから参加されていたので、寅次郎と同じ、会員制になった1997年(平成9年)10月の入会です。ウォーキングを始める前はサークルの仲間とハイキングや山をやって良く出かけたそうです。でもなかなか仲間が集まらなくなってしまいウォーキング愛好者グループのリーダーの小宮二三夫さん(FWA初代会長で故人)に誘われてウォーキングを始めたそうです。当時は山からウォーキングに変更される方が多くいて皆さん健脚でした。倉林さんの健脚ぶりが分かりました。「ウォーキング」とは現在の呼び方で当時の呼び方は「歩け歩け」でした。1963年(昭和38年)に早稲田大学の学生4名がアメリカ大陸を歩いて横断し、帰国後の1964年に「歩け歩け運動」を提唱したのが始まりでした。このように山登りの健脚者やアスリートの方がウォーキングを始める一方、寅次郎のように医者から治療のため運動、特に歩くことを勧められた人も多くいました。その中間は友人がやっていたためや定年で暇になったからとウォーキングを始めた人達です。



**倉林さん、1996年(平成8年)還暦を過ぎてからジムに通い、トレーニングを始めています。**

筋力を落とさないためとのことで、大庭や八部公園の市のジム施設に通っているとのこと。

柔軟体操(ヨガピタテス)やマシンを使った運動をなんと20年以上続けられていると聞き驚きました。

テニス、フォークダンス、ゴルフと体を動かすことにも熱中した時期もあったそうで、今は運動がない時は公園散歩とテレビでのスポーツ観戦だそうです。小柄ですが、体を動かすことが大好きな元気印の方だと良くわかりました。スタッフとしてFWA例会に参加して、年間完歩は毎年で、年間完全完歩は2018年現在で7回達成(2009年～2011年3年連続、2015年～2018年4年連続)という恐るべき元気印の女性です。

70歳から「7010」になった寅次郎、倉林さんから元気のおすそ分けをいただき「8010」(80歳でも10kmを歩ける)を目指します。

今回は バーチャルウォークで聖火を新国立競技場へ—15—です。

平野 寅次郎 拝